

# JC NEWS

春号

Vol.798

特集

長崎JCを深掘る！

林 敏幸先輩の「まちづくり」

一般社団法人長崎青年会議所

# 目次

理事長挨拶 ..... 2 P

特集

長崎JCを深堀る！ ..... 4 P

過去の長崎JCの事業 .....11 P

手作りランタン体験コーナー .....13 P

媽祖行列 .....14 P

2月例会 .....15 P

2月定時総会 .....16 P

3月拡大室担当例会 .....17 P

委員会メンバー紹介 .....20 P

(まちづくり委員会・青少年育成委員会)

部会・部活動紹介 .....24 P

(長崎ブロック建設クラブ、ゴルフ・野球・サッカー・茶道)



# 理事長挨拶

すっかり暖かくなり、過ごしやすい季節となりました。皆様、いかがお過ごしでしょうか。本年度が始まり、早いもので約4分の1が経過しました。特に1月から3月は、新体制の始まりとして、私自身も理事長として様々な経験をさせていただき、長崎青年会議所としても多くの活動がございました。しかし、忙しさに追われる中でも、私達は常に意識すべきことがあります。それは、私達の活動が社会にどの

ような「影響」を生み出すのか（社会運動）、そしてそれらの運動を担う人々が「主体的」に課題を改善できるのか（市民運動）という点です。これは私達の使命であり、



常に立ち返るべき指針となります。  
「長崎青年会議所って何をやる団体ですか？」。これは、私達を知らない方々から必ずいただく質問です。私達自身が長崎青年会議所のアイデンティティをどう捉えるか。この問いを考える入口として、個々の会員がどのような魅力を感じているかが重要です。その魅力には、青年経済人としての人格的成長、人脈の構築、信頼関係の形成といったビジネスに直結しやすい側面もあるでしょう。しかし、本質的な部分はそこではありません。

私達一人ひとりが、20歳から40歳という限られた時間の中で、どのような形の人生を描き、社会との関わりの中でどのようにそれを築いていくのか。そして、時間や経済的な資源を投じる中で、そこにどのような意味を見出すのか。それは他人に決められるものではなく、自分自身で見定めるべきものです。これらを主体的に考えていけば、長崎青年会議所の真の魅力を発見することが出来ます。先輩方が築いてきた歴史を含め、地域に根差した活動の背景、その意図や目的を理解するこ

とが、私達自身の成長と地域社会への貢献に繋がるのです。今回の4月号では、まちづくりについて涉外広報委員会が特集を組みました。長崎市のアイデンティティとなり、30周年を迎えた長崎ランタンフェスティバルについて、林敏幸先輩の貴重なお話をお届けし



今年のランタン点灯式の際、林先輩(中央)、山口顧問(左)と

ます。この特集を通じて、地域への影響をどのように生み出すか、そして主体的に課題を改善できる環境をどのように構築できるか、そのヒントを得ていただければと思います。長崎青年会議所には、挑戦の機会が豊富に用意されています。それを活かすどうかは、私達次第です。ただ偶然降ってくる「チャンス」を待つのではなく、整えられた基盤の上で、一つひとつの機会を確実に掴み取っていきましょう。私達の活動が、より良い社会への一歩となることを信じて。



特集

# 長崎JCを深堀る！

## 林敏幸先輩の「まちづくり」



長崎青年会議所 特別会員  
林 敏幸先輩  
(第34年度(1986年度)卒業)

長崎の冬を彩る一大イベント「長崎ランタンフェスティバル」。今では多くの観光客を集める長崎市の象徴的な祭りですが、その原点には、長崎青年会議所での活動を通じて「まちづくり」にご尽力された林先輩の情熱がありました。

長崎JCでどのようなご経験をされ、長崎ランタンフェスティバルの立ち上げや発展に活かされたのか。そして「まちづくり」が地域にどのように根つき、未来へと繋がっていったのかを林先輩との対談から振り返ります。

(聞き手：渉外広報委員長 深堀 和政)



2015年頃の林先輩

1987年、林先輩のご尽力により長崎ランタンフェスティバルの前身となる「春節祭」が始まりました。その後、94年に現在の「長崎ランタンフェスティバル」に変わり、今年で30周年を迎えました。林先輩の「まちづくり」にかけた想いを深堀っていきます！

**深堀**：春節祭はどのような経緯で開催されることになったのでしょうか？

**林先輩**：元々、父が「中華街に4つの門を作りたい」という夢を持っていて、兄と一緒に引き継いで動いたんだ。最初は市役所も町内のひとも反対して、全然許可が下りなかった。だから最初は横断幕で門を作ったりして、毎日話に行って、なんとか関係者や町内のひとを巻き込んで、ようやく1986年に門を建てることができたんだ。それから中華街を盛り上げるために春節祭をスタートしたんだよ。中国、台湾へ視察に行っただね。最初の頃はお粥を無料で配ったり、ちゃんぽんの早食い競争で仲間にサクラで何杯も食べさせたり、チャイナ服を着た女性と有料で写真を撮影したり...皆で必死に頑張った分、喜びも大きかったよ。



式典に参加する林先輩



1986年 牌楼門完成記念式典



**深堀**：そこからどのような過程で長崎ランタンフェスティバルへと転換していったのでしょうか？大変だったことなども教えてください。



**林先輩**：1993年は長崎市の観光客がガクッと減っていて、市役所と観光協会から「春節祭をもっと発展させましょう」って話が来たんだ。でも行政と民間じゃ考え方が全然違う。揉めて、喧嘩も何度もしたよ。お互い言いたいことをぶつけ合っ

て、少しずつ歩み寄って「光のまち長崎」とテーマを決めて動き出したんだ。それからランタンの買い付けにシンガポールに行くことになって。現地のひとは観光客には一切売ってくれなかった。でもポケットから100万円見せたら、店のひとの目の色が変わってね。笑 そこから交渉が始まって、最終的に500万円で買えたんだよ。ただ、ランタンを長崎に持ち帰るのもひと苦労でさ。素材が竹だから「虫がいる」って理由で陸揚げできなかったり...次々と問題が出てきた。いろんなひとに助けていただいて、乗り越えることができたんだ。



ランタンは現地の方が作成



ランタンの中の骨組み



衣装は本場中国の手縫い仕立て

**深堀**：次から次へ問題に直面されたんですね...

**林先輩**：まだまだ序の口だよ。買って来たランタンがボロボロでさ、困っちゃったよ。仲間達と一緒に、一つ一つ手作業で何千個も修理したんだ。JCで役割分担して責任もって動くってことを経験していたから、うまく効率よく進めることができたんだ。



**深堀**：ここでJCの経験が活きたんですね！これで問題も解決してよいよ準備に...



**林先輩**：ここからが本当に一番大変だった。長く続く祭りにはアーケードにも協力してもらわないといけない。アーケードにはJCの仲間や先輩もたくさんいたけど、現役の父親世代が全員大反対でね。

「商店街に赤提灯は吊るさない」「バレンタインに中国のランタンは合わない」とか、めちゃくちゃ言われたよ。ハウステンボスができて観光客も減っていたし、先が見えない中でよく分からないものに協力できないと。私にできることは、電話して、直接会いに行くしかなくて...本当に毎日だよ。40歳も過ぎて、若い自分達がやらなきゃ何も変わらないと思って毎日動いてたんだ。

『まちのためにやってるのに、なんで私がこんなに苦労しなきゃいけないんだ...』って、悔しかった。





**深堀**：本当に難しい状況ですね…。でもそこから、許可をいただけたのはなぜですか！？

**林先輩**：ある日電話で呼び出された先に、JCの仲間達が集まっていたんだよ。『林君がそこまで言うなら、1回やろう。親父達は反対してるけど、自分達が説得する』って言ってくれたんだ。私は『任せてくれ！俺ば信じてくれろ！』って答えた。もう本当に嬉しくて、事務所まで帰る道中、涙が止まらなかったよ。今でもあの時のことは忘れられないね。

**深堀**：JCの友情なんですね。卒業された後ですが、やはり特別な繋がりを感じます。

**林先輩**：JCでともに事業をやって、同じ釜の飯を食べて過ごした時間がある。(現役時82年の長崎)大水害の時は皆大変なのに、まちのために一生懸命動いたんだ。同じ想い、情熱を持っているからだと思う。そんな仲間の覚悟があったから、絶対に失敗はできなかった。ランタンは全部アーケードに持って行って、そりゃ中華街のひと達からは怒られたし、陰口も言われたよ。でも自分はそれで良かった。やるって決めたからには、やり切るつもりだった。心配の声や不満も多かったし茶化しに来るひともいたけど、いろんなひとに支えられて、この祭りが開催できたんだなって実感したよ。



第1994年に1回が開催



大賑わいのアーケード

**深堀**：現在は相談役としてランタンフェスティバルを支えていらっしゃいます。30周年を迎えて、改めてまちづくりへの想いをお聞かせ下さい。

**林先輩**：続けることは大変なんだ。ランタンフェスティバルも勢いがなくなってきた、今年はずいにメインオブジェが変わらなかった。本当に歯がゆかったよ。人手も足りないし、多くのひとに関わってほしい。JCにもどんどん入ってきてほしい。多くのひとが参加して一緒に作り上げていくことが「まちづくり」だと思うんだよね。立ち上げ当初に誓った『100年続く祭りに』という想いを忘れずに、皆で協力し、仲良く、行政も巻き込んで続けてほしい。



**深堀**：最後に現役会員へメッセージをお願いします。

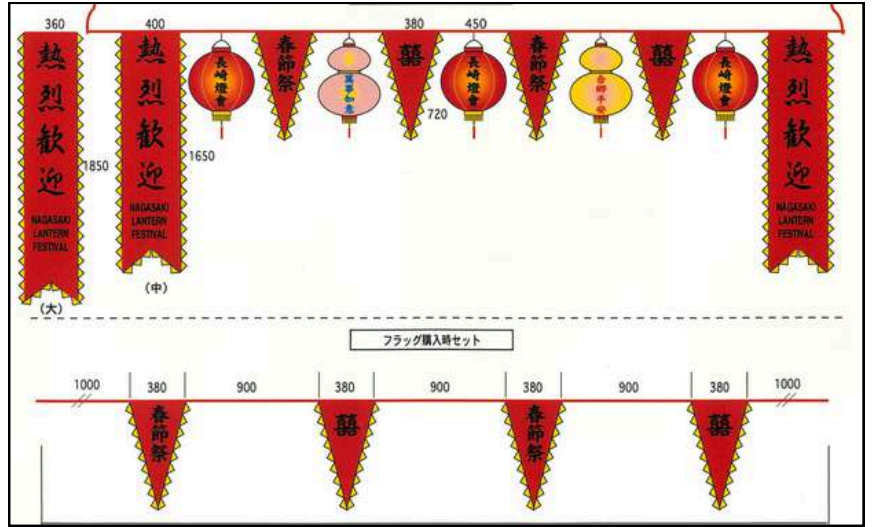
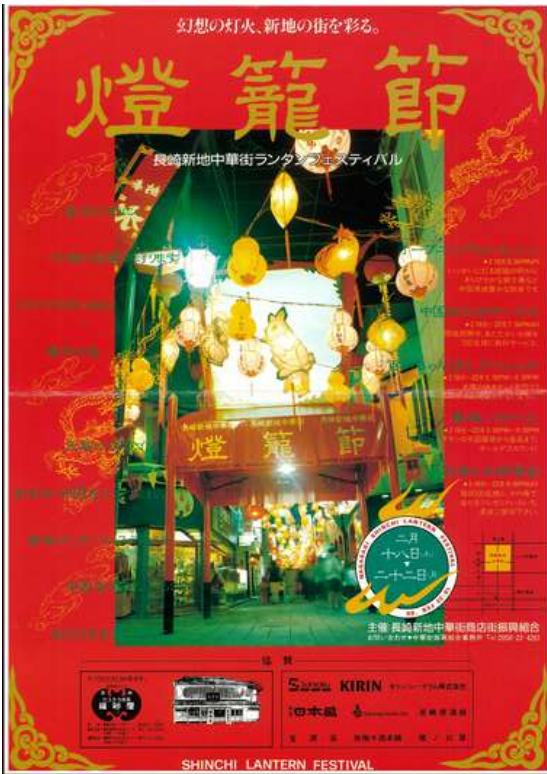
**林先輩**：JCでの一番の学びは、LD（指導力開発）とCD（社会開発）だね。それが私にとって自己成長の原点となった。JCに入ることによって自分と地域の関わり方を見直し、将来どんな人間になりたいかを考えるきっかけを得ることができたんだ。仲間や先輩から多くのことを学んだよ。JCは単なるイベント団体ではなく、学びと実践の場。学ぶだけでは分からない、実際に体験し役職に挑戦することで真の成長があるんだ。だからこそ現役会員にも積極的に挑戦してほしい。卒業後の挑戦もJCでの経験が基礎になっているからね！



**取材後期**：林先輩が対談の中で当時を思い返し、涙ぐまれる姿が印象的でした。そして直接何度でも足を運ぶことの大切さを改めて教えていただきました。貴重なお話と写真のご提供、ありがとうございました！



当時の貴重なお写真を見せさせていただきました。



長崎燈會のランタンデザイン 原案

1988年 春節祭のチラシ



1996年 湊公園で初開催

記念テレホンカード



2012年 林先輩と田上前市長



20周年記念事業  
10年ぶりの中華大婚礼



# 過去の長崎JCの事業

長崎ランタンフェスティバル以外にも、長崎JCは市民を巻き込み様々な事業を行ってきました。

## みなとまつり



1994年に「ながさきみなとまつり」に改称。長崎JC、長崎青年協会、長崎商工会議所青年部、長崎ネットワーク市民の会の青年4団体が参画し、充実を図りました。2000年には日蘭交流400周年記念事業協

賛イベントとして位置づけ「国際ながさきみなとまつり」として開催し、今も市民、観光客に長崎の海・港の素晴らしさを感じていただいています。

## 市民大清掃

1972年、長崎JCの社会開発委員会がごみ問題に関する提言と調査を行い、翌73年に「長崎を美しくする実践運動」を展開。約100名の会員が作業服を着て石橋群や中島川の清掃を実施しました。翌74年8月25日、16万人以上が参加する市民大清掃へと発展し、清掃が行われました。現在、この活動は8月9日の原爆犠牲者慰霊平和祈念式典を前に、まちを美しく整えることを目的に各自治会や団体へ移行しています。



1974年 第1回 中島川清掃



## ながさき100km徒歩の旅



2013年、第1回ながさき100km徒歩の旅が開催されました。長崎県内の小学生を対象にした4泊5日で100kmを歩く教育プログラムです。この活動は、子ども達が自らの限界に挑戦し、自立心や協調性、責任感を育むことを目的としています。長崎JCはじめ地域の団体やボランティアの協力により運営されました。子ども達の安全確保やサポートを行い地域社会全体で子ども達の成長を支えています。

第1回の  
動画は  
コチラ



## 平和の灯

1993年に「ピースキャンドル交換事業及び8・8・8一斉点灯事業」としてスタート、98年に長崎JCが初めて参



画し、翌99年に「平和の灯」となり現在に至ります。広島と長崎の小学生が作ったピースキャンドルを交換するために、広島の実験ドームへ行き、広島JCの方と一緒に記念碑前にキャンドルを設置したことがありました。2024年には約2,500本のキャンドルが灯され、平和へのメッセージを添えたバルーンリリースが行われました。

これからも様々な事業を行っていきます！お楽しみに！



# 手作りランタン体験コーナー

今年の手作りランタンも大好評！

2月2日、9日(土)、ベルナード観光通りにて手作りランタン体験が開催されました。今年限定のデザインとして、ポケモンのデンリュウとコラボしたランタンを制作。参加者は好きな色で塗り絵をして、自分だけのオリジナルランタンを作りました。更に、チャイナ服を着て記念撮影ができるコーナーもあり、子どもから大人まで楽しめるイベントとなりました。



手作りランタン  
体験コーナー  
実施中

場所：ベルナード観光通り 十八親和銀行 観光

デンリュウに個性溢れる色をつけて、街中を明るく照らすランタンを見るとランタンフェスティバルに負けないくらいの綺麗な景色を見ることができました。LEDを取り付ける際、沢山の子どもや参加者の皆さんとお話することができて楽しかったです！ 執筆者：渉外広報委員会 森 恭平君





# 媽祖行列



## 大行列がまちを練り歩く

媽祖行列に参加しました。2月2日(土)には、孔子廟から中央公園へ、9日(土)は中央公園から孔子廟を目指して長崎市内を練り歩きました。媽祖様の守護神である千里眼や順風耳など、華やかな衣装をまとった約110名が参加。長崎を担う他団体と協力し、雪の舞う中で旗を持ち街中を練り歩きました。

新たな経験で皆さんと思い出の1ページを共有することができました。今後も様々なイベントに参加し長崎市を盛り上げていきたいです。

執筆者：事務局次長 森 大地君



**媽祖行列とは** 江戸時代、長崎に入港した唐船の乗組員達が行っていた行列です。航海安全の神とされる媽祖を唐寺の媽祖堂に安置するまでの行列を再現しています。



# 2月例会



2月10日(月)、2月例会・定時総会がホテルニュー長崎で開催されました。総務委員会と連携し無事に定時総会を終えられたことを嬉しく思います。第73年度で最初となる例会アワーでは「JCメンバー隠れた魅力発見スピーチリレー」と称して、多数の方々にご登壇していただきました。意外な一面を発表していただき、今後の更なる交流のきっかけになると思います。

スマイルコーナーでは例会委員会・田河毅宜君の株式会社V・ファーレン長崎代表取締役社長就任を会員一同でお祝いしました。おめでとうございます！



出席率発表では、見事100%を達成した事務局の小林局長、森次長に登壇していただき動員に向けた取り組みをコメントいただきました。例会に多数ご出席いただき感謝しておりますが、出席率100%を目指し引き続きご協力お願い致します。

執筆者：例会委員会 鳥巢 峻輝君





# 2月定時総会



2月定時総会では、第72年度田添理事長をはじめとし、各副理事長、専務理事、常務理事からメンバーへの感謝と事業の報告、説明がなされ、承認されました。また、第73年度種田理事長から第72年度田添理事長へ感謝状が贈呈されました。



西岡副理事長



鮎川副理事長



國枝副理事長



種田副理事長



前田室長



大平専務理事



立川常務理事



第72年度(2024年度)は「一日一生」をスローガンに掲げ、一日一日を一生のよう大切に思い、悔いなきよう活動して参りました。

第72年度理事役員の皆様、1年間お疲れ様でした！



# 3月拡大室担当例会



3月11日(火)、3月拡大室担当例会「GRIT～その一步が未来を変える～」が開催されました。正会員や特別会員の皆様のご協力もあり、一般の方86名にご参加いただくことができました。誠にありがとうございました。

当日は、社会福祉法人みねやま福祉会の榎田啓様をお招きし「やり抜く力(GRIT)」をテーマにご講演いただきました。過去の経験にとらわれず、情熱を持って粘り強く挑戦し続けることの大切さを学ぶことができました。また、グループワークを通じて自分を見つめ直し、新たな一步を踏み出す貴重な機会となりました。JCの魅力を感じていただけた機会になったと思います。



社会福祉法人みねやま福祉会  
榎田 啓 様  
(一般社団法人京丹後JC OB)





執筆者：  
会員拡大委員長  
溝上 雄斗君

公開例会をきっかけに入会希望者が増えてきています！本年度の会員拡大活動も残りわずかとなりました。今年度目標35名までもうひと踏ん張りです！より良い長崎にしていくために、ともに学び成長できる仲間を増やしていきましょう！

私自身、2年前の公開例会をきっかけに入会を決意した1人として、この公開例会には強い思い入れがありました。自分と同じように一歩踏み出していただくために、講師選定に一切妥協をしないと、副理事長、室長との弾丸！京丹後日帰りの旅。最高の思い出であり、公開例会成功への起点となりました！



# 会員募集中



※クリックで紹介動画が見られます

長崎JCは1952年12月に発足し「明るい豊かな社会」の構築を念頭に置いて、我々の郷土長崎のみならず、長崎県、九州、日本、そして世界に貢献できる様々な事業を展開して参りました。

我々、長崎JCは「修練」「奉仕」「友情」という三信条のもと、20歳から40歳の青年達が次世代を担う地域のリーダーとなるべく、様々な研修やセミナーを重ねて、個人の資質を向上させ、地域社会に貢献できる人材の育成に努めております。

また、より良い長崎にする

ために奉仕の精神と郷土愛を胸に、活発な議論を交わし、知恵を出し合いながら「ひとづくり」「まちづくり」のための様々な事業を展開しております。そのような事業を通じて共に汗をかき、達成感を共有できるかけがえのない仲間を作ることができることも魅力のひとつです。



詳しくはコチラ



# 委員会メンバー紹介 VOL.1

## 【まちづくり委員会】



**委員長 野村 耀平君**

賑やかで気の良いメンバーばかりです！  
地域に積極的に関わる人々を増やし、まちづくりのメンバーにも新しいチャンスや機会を提供できるよう踏ん張ります。



**副委員長 中野 亮君**

初の役職で緊張していますが、先輩方から学びながら、野村委員長を支えながら自分らしく委員会をサポートします！



**運営幹事 秋浦 有紀君**

運幹として、野村委員長をサポートし、皆さんと力を合せて大好きな長崎に関わっていききたいです！



**拡大幹事 神谷 月乃君**

至らぬ点も多々ありますが、できることを積み重ねながら成長していきます！



**赤瀬 平君**

委員会活動をとおして、新しい出会いや学びを楽しみながら、自分自身も成長していきたいです。

**一倉 瑞貴君**

地域に根差したまちづくりに自身の意見を積極的に発信していけたらと思います。同期の野村委員長、応援しています！

**川原 倫彦君**

ラストイヤーは、これまで培ってきた経験を活かし、若いメンバーが力を発揮できるようにサポートを努めます。

**田中 隆徳君**

これまで経験してきたことを委員会、特に野村委員長に還元し、成長できるように支えていきます。

**爲田 正平君**

同期の野村委員長が頑張っているので、積極的に参加しながら委員会が楽しい場所になるよう本領発揮します！！

**中野 雅也君**

昨年入会のフレッシュさで、委員会を盛り上げていきます！！

**山本 侑君**

正直あまり参加できていませんが、参加できる時には参加し、自分にできることで貢献していきます！



# 委員会メンバー紹介 VOL.2

## 【青少年育成委員会】



**委員長 長尾 優輝君**

全ては子ども達のために！個性溢れる最高の青少年メンバーと全力で駆け抜けます！！



**副委員長 多良 匠平君**

未来ある子ども達の為に1年間頑張ります！！青少年最高！！



**運営幹事 浦川 隆明君**

事業をとおして僕らの熱い想いを皆様に届けます！JC最高！青少年最高！



**拡大幹事 森 彩香君**

皆さん本当に温かい方々なので青少年育成委員会に所属できて良かったと思っております。



**川端 翔君**

ミライを担う子ども達に輝いていただきましょう！



佐藤 涼平君

子どもも僕らも、共に成長できる最高の機会(事業)を。楽しもう！



島崎 涼君

子ども達の為に全力で頑張ります!!  
JC最高!!青少年最高!!



中浦 友樹君

夢にときめけ！明日にきらめけ！  
GO！JC！GO！



花原 結希君

小さい頃にしかできない経験もあると思うので、その成長過程に関わっていききたいです。



本間 圭亮君

全ての事業において、子ども心をトレジャーハントします！



# 長崎ブロック建設クラブ



2月28日(金)、I・Kホテルにて建設クラブ2月定時総会・懇親会が開催されました。定時総会では、前年度の事業報告及び今年度の事業計画や常任委委員の承認が行われました。日本JCの業種別団体の1つとして、建設部会があります。全国28クラブ約2,000人の現役とシニア会員が所属する団体です。その中の長崎ブロック建設クラブは、現役と卒業生合わせて171名が所属しております。

LOMが学校だとしたら、建設クラブは部活動みたいな感じだと考えて下さい。近年、公園清掃や廃木材を利用して工作を行う



木工体験の様子

体験事業などが目玉の対外事業です。先輩や全国各地のメンバーと交流でき、様々な事業を行っております。

2025年度クラブ代表 浦川 翔平君

LOM活動とはまた一味違う経験ができる団体です。是非お気軽にご入会をお待ちしております。建設クラブ最高!!!!





# じゃがいも倶楽部(ゴルフ)



2月19日(水)、チサンカントリー倶楽部にて、じゃがいも倶楽部例会・懇親会が開催されました。特別会員5名、現役会員10名にお越しいただき、気持ちの良い冬晴れの中でのプレーとなりました。夜の懇親会も盛会にて終了しました。今回がゴルフ初挑戦となる会員もいる中、周囲のサポートもあり、スムーズな進行ができました。初心者の方にもゴルフを楽しんでいただける運営を行って参ります。より多くの会員の皆様のご参加をお待ちしております。

.....

**全参加者にとって実りある交流、誰もが楽しめる運営を行っていきます。ゴルフの経験という概念に囚われず、多数のご参加をお待ちしております！**



執筆者：代表幹事  
北島 秀基君



# 野球部

10年もの間、諫早JCの王座を崩せずにいました。しかし、今年の長崎JC野球部は違います！松尾監督の巧みな采配、北島キャプテンの熱きリーダーシップのもと、我々は勝利に向かって突き進みます！今年のテーマは「野球を全力で楽しみ、そして勝つ！」。守備よりも打撃に全振りした攻撃型チームで、圧倒的な火力を武器に戦います。今年こそ、諫早JCを打ち破り、悲願の優勝旗を長崎に持ち帰ります！皆さんの熱い声援が、我々の力になります。どうか応援宜しくお願いします！



なっとらん！

## <部員募集中！>

野球未経験者でも大歓迎！チームの一員として、ともに熱い戦いを楽しみましょう！新入会員の皆さん、いつでもお待ちしております！



執筆者：副キャプテン 横内 裕太君



# サッカー部



本年度サッカー部キャプテンの職をお預かりしております小川清貴です。ここ数年間は活動できておりませんでした。大平監督の号令により本格的に始動致しました！4月中旬には九州地区JCサッカー大会も控えておりますので、皆様に良い報告ができるように現役会員、先輩方とともに奮起して参ります。我こそはという方は随時部員も募集中ですのでお気軽にお声掛け下さい！



執筆者：キャプテン  
小川 清貴君





# 長崎青松会(茶道部)



3月12日(水)19時より高木先生のご自宅で(下西山町)お茶のお稽古がありました。青松会は奇数月の第3水曜日19時から高木先生のご自宅でお稽古をしています。まずは軽い気持ちでのご参加でも大歓迎ですので興味がある方は、土井までお声掛け下さい。日本の古き良き文化や歴史に触れながら所作が綺麗になりますし、とっても楽しいですよ。たくさんのご参加お待ちしております。



執筆者：  
土井 あかり 君

日々お茶を飲むことはあっても茶道(ちゃどう)の経験があるひとは多くないでしょう。長崎青年会議所茶道同好会「長崎青松会」は来年創立**20周年**を迎えます。全く新しい何かにチャレンジすることで自分の見識や厚みを持たせたい方、是非お声掛け下さい。お待ちしております。

第53年度理事長

長崎青松会会長 藤岡 秀則先輩



アンケートのご協力を  
宜しくお願い致します。



一般の方は  
➡ コチラ



特別会員は  
➡ コチラ



正会員は  
➡ コチラ